



Seigetsuki

「お葬式とは？」 考えることで見えてくる、想うところ。伝える気持ち。

お葬式は、思いがけず急に訪れるもの。だからこそ、自分にとってのお葬式の在りかたを、送る側・送られる側両方の立場でちゃんと考えておきたい。『清月記』や『ライフスタイル・コンシェルジュ』をご利用いただいたお客様からは、そんなお葬式に関する思いがたびたび寄せられていました。

そこでお葬式についてお客様とともに考える機会を設けるべく「清月記モニター制度」を昨年より発足しました。お葬式の役割に対する自分の意見を述べながら、その必要性を深く議論する機会は、これまでほとんどなかったことだと思えます。お葬式の個々の事象について言及するというよりも、ディスカッションを通じて、お葬式を多角的な視点から捉え直せるようにしているのが、このモニター制度の特長でもあります。一面的な情報を多面的に捉え直してみること、見えてくることや気づくことがあると実感される方が多くいらっしゃいます。それぞれ「点」として存在しているお葬式に対する考えや知識が、様々な意見によってつながり、整理され、それぞれの希望するお葬式のスタイルへと進化していきます。人生がそれぞれ異なるように、そのスタイルは人によって千差万別。そのことに気づく意味も大きいと言えるでしょう。

そして、送る側・送られる側両方に共通した「お葬式、するならこうしたい（こうしてあげたい）」という希望に共通して多かったのは、

「たくさんのお花に囲まれた式がいい」ということ。花々のたおやかな色彩を眼に、穏やかに悲しみを分け合い、ともに語らう。花の香りに過ぎ去りし時を振り返り、安らかな眠りを祈る。美しい花々は、古来より人の想い出に寄り添い、捧げられてきた癒しのファクター。そんなモニターの皆さまのお話から、新たなご葬儀のかたちが生まれてきました。それは、故人の想い出の花が咲く場所でのガーデンセレモニー。桜舞い散る丘の公園や、小さかったお子さまと遊んだひまわり畑。爽やかな香りと愛らしい小花に満ちたハーブ園。青空のもと、花々に囲まれて故人の愛した音楽を生演奏で聴き、想い出の味を囲む。そんな、これまでにないセレモニースタイルも、『清月記』なら叶えることが可能です。

お葬式のかたちは、人の想いの数だけ多彩。皆さまの声が、新しいお葬式のかたちをつくるのです。

お問い合わせ・ご相談

清月記

24時間365日受付

 0800-888-5777
www.seigetsuki.co.jp